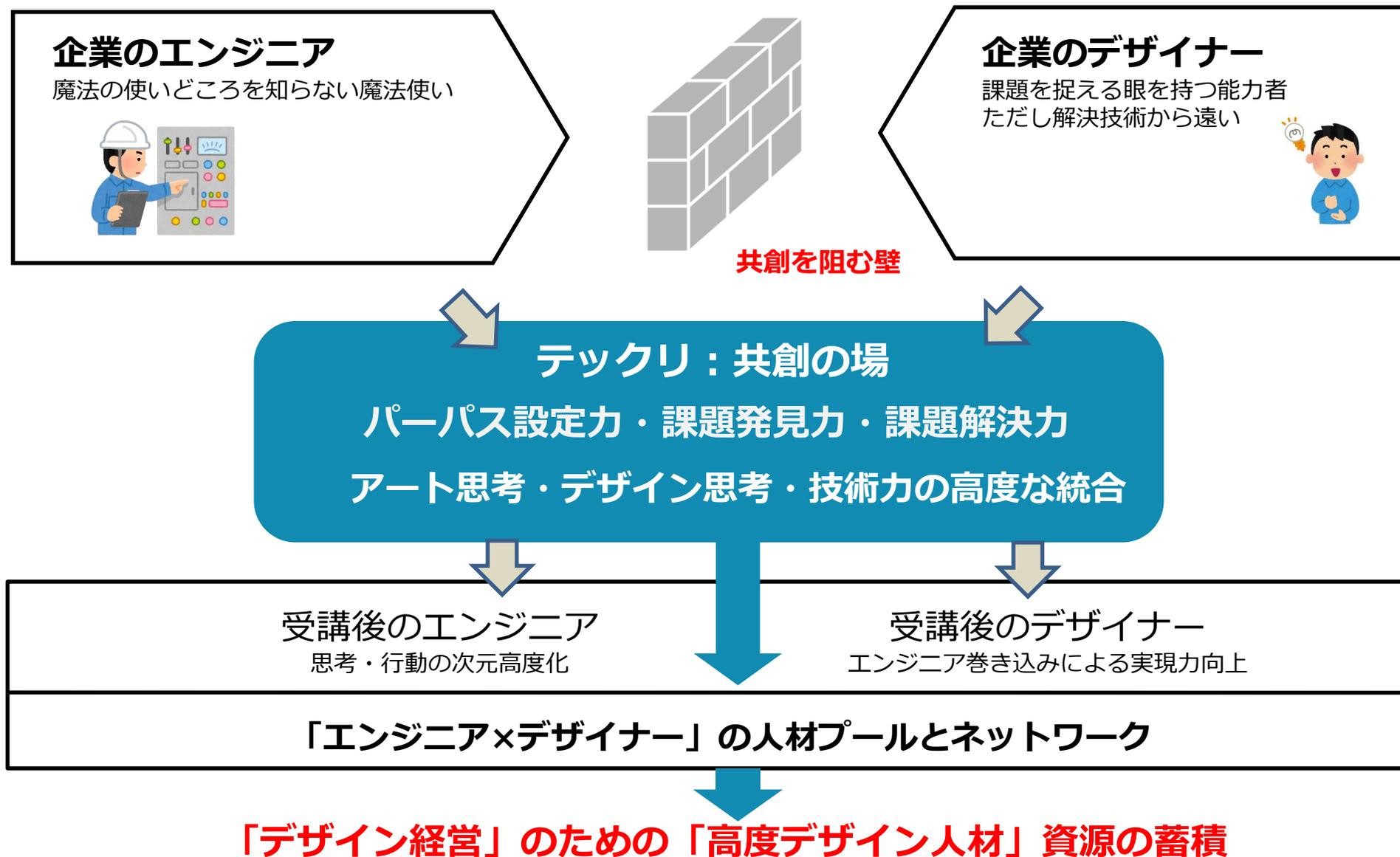


## Technology Creatives Program (通称テックリ) の概念図



● 連携体制 東京工業大学（幹事校） 多摩美術大学（協働校） 一橋大学（協働校）

## ● 事業の目的

エンジニアとデザイナーが価値創造スキルを身に付け、先端技術を活用して社会共創の機会をつかむ「価値創造人材育成プログラム」の開発と拠点の形成。  
テクノロジー、アート・デザイン、ビジネスの全方位指導体制を通じて「エンジニア×デザイナー」の人材プールとネットワークを構築する。

## ● 取組内容

### 教育プログラムの開発：

少数の社会人受講者を対象とする教育プログラム **Technology Creatives Program**（通称テックリ）を開発する。従来に無い新しい価値創造のため、パーパスを設定し、課題発見、解決方法提案および実施を自らリーダーシップを発揮して先導できる能力およびマインドセットを備えた「尖った人材」を輩出する。

### 拠点の形成：

継続的に生まれる価値創造「エンジニア×デザイナー」たちが、互いに助け合い刺激しあう実践共同体を組織する。この実践共同体は、我が国における価値創造人材の資源蓄積プールとなる。さらにこの実践共同体には、大学教員や社会人メンターも含まれており、事業期間終了後に開始する普及のためのFDプログラムやイベントの拠点となる。

● **産業界のニーズ**：旧来の知識偏重教育による効率や論理のみに縛られた思考では成し得ない「新たな価値創造を先導する人材」の需要が高まっており、そのような人材の育成方法についての知見の需要も高まっている。

● **育成する人材像**：従来に無い新しい価値創造のため、自らリーダーシップを発揮し、パーパスを設定し、課題発見、解決方法提案および実施を先導できる能力およびマインドセットを備えた「尖った人材」。

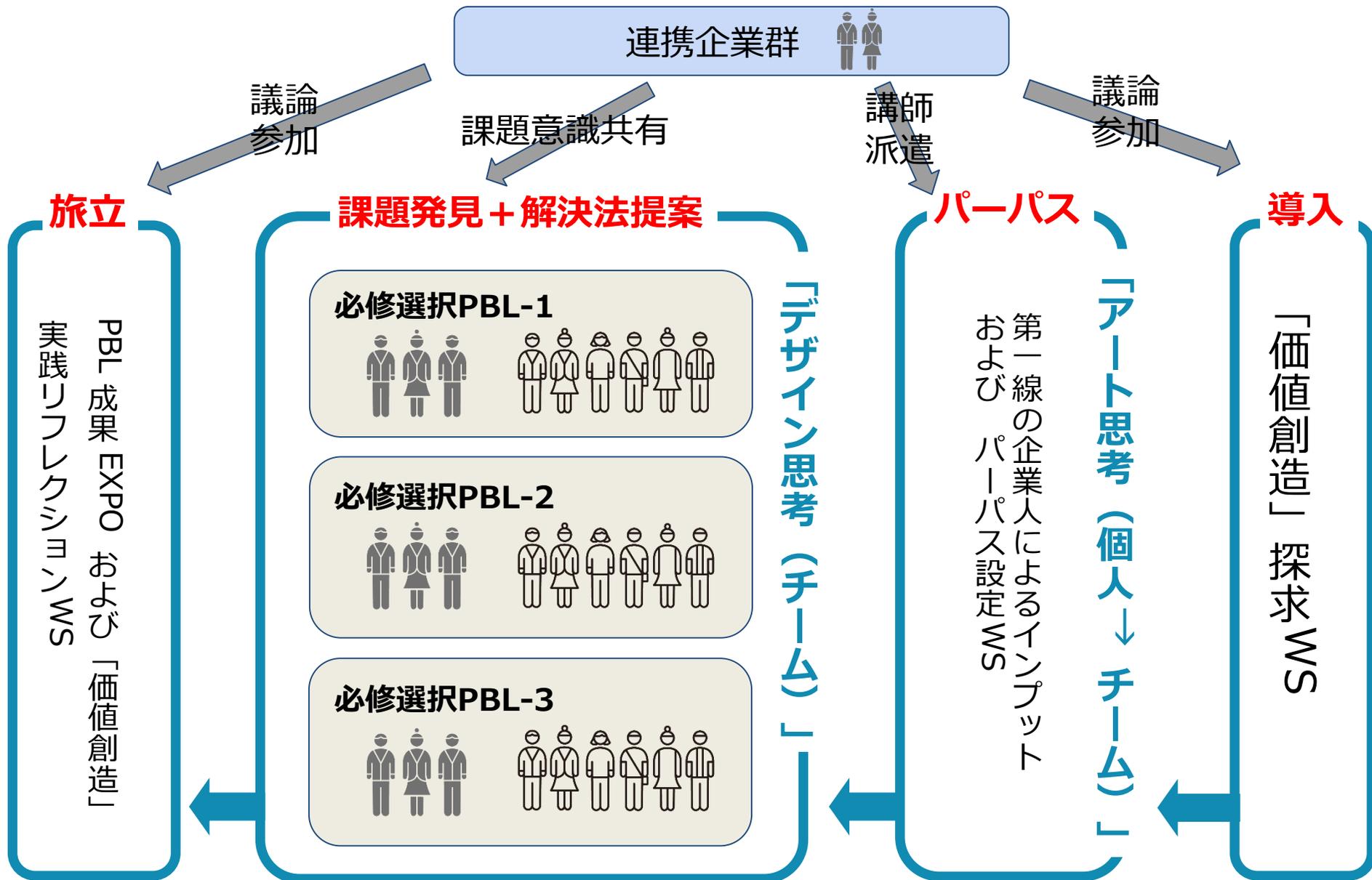
育成する人材像の項目	プログラム内容	知識・技術・技能・能力等
<b>リーダーシップ</b>	「価値創造」探求WSおよび「価値創造」実践リフレクションWS	「価値創造」について深く理解し、周りを巻き込んで実践することができる。
<b>パーパス設定</b>	未来ビジョン描画と価値観共有によるパーパス設定トレーニング	内発性に基づく社会への思いを言語化できる。
<b>課題の発見</b>	パートナー企業とパーパスを共有した産学連携デザインプロジェクト@東工大 and/or 多摩美大	エクストリームユーザーからのインサイトを導出することができる。
<b>解決方法の提案</b>	パートナー企業とパーパスを共有した産学連携デザインプロジェクト@東工大 and/or 多摩美大	多段階のプロトタイプによる多面的な解決方法提示と検証を実行できる。

● **受講者定員**：20～30名（予定）      ● **学習時間**：90時間～120時間（予定）

● **修了要件**：必修科目（「リーダーシップ」および「パーパス設定」）を1科目受講の後、必修選択科目を1科目以上受講

# プログラムの全体イメージ

教育内容の特徴：東京工業大学、多摩美術大学、一橋大学の教員群による受講生への  
テクノロジー、アート・デザイン、ビジネスの全方位多視点フィードバック



連携企業群



議論  
参加

課題意識共有

講師  
派遣

議論  
参加

旅立

課題発見+解決法提案

パーパス

導入

実践リフレクシオンWS  
PBL成果EXPOおよび「価値創造」

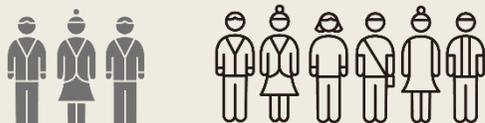
必修選択PBL-1



必修選択PBL-2



必修選択PBL-3



「デザイン思考（チーム）」

第一線の企業人によるインプット  
およびパーパス設定WS

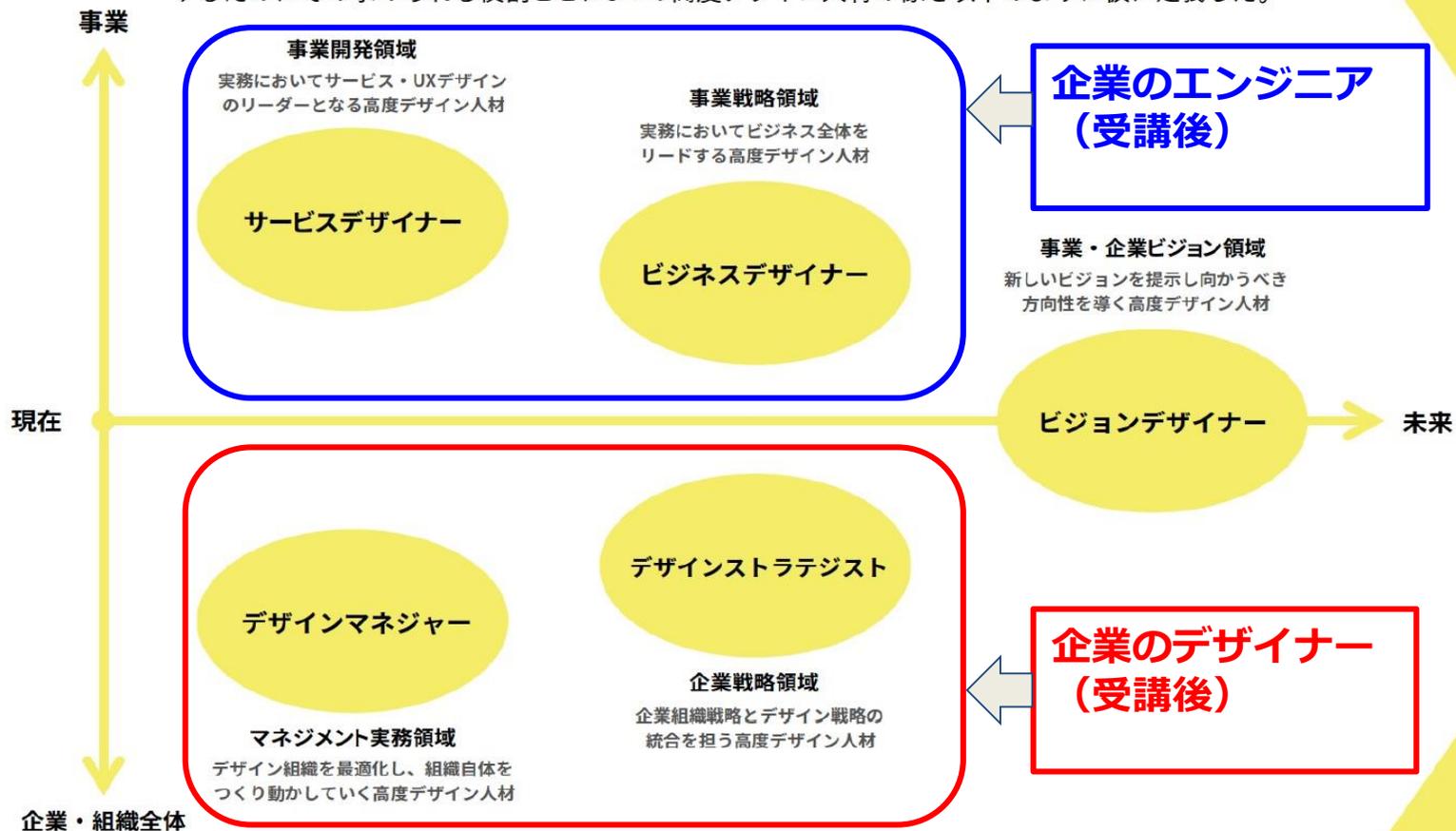
「アート思考（個人→チーム）」

「価値創造」探求WS

# 「デザイン経営」を支えるプログラム修了生

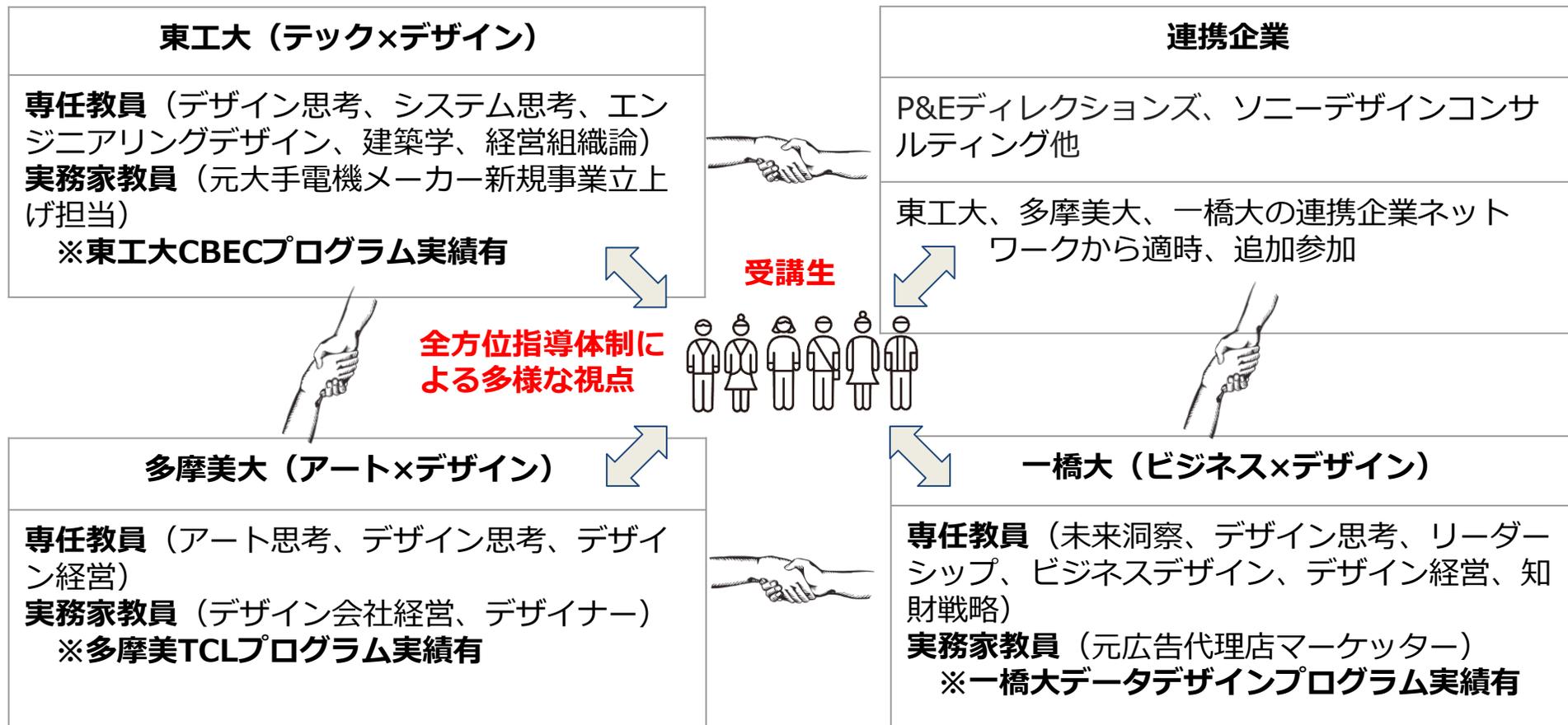
## ビジネス現場での高度デザイン人材のイメージ

高度デザイン人材が社会でどのように機能・活躍するか、具体的な組織やおかれている状況から想定するためにその求められる役割ごとに5つの高度デザイン人材の像を以下のように仮に定義した。



出典：経済産業省「高度デザイン人材育成研究会 ガイドライン及び報告書」を一部改変

本プログラムにおける指導体制の特徴は、**テクノロジー、アート・デザイン、ビジネスの観点での多視点指導体制**にあり、**受講生の立場からすると全方位多視点のフィードバック**を受けられることになる。



テクノロジー、アート・デザイン、ビジネス、一見、相反する視点を高い次元で昇華させるため、**教員間でのFD合宿を充実させ教員チームを一体化させる**。連携企業を中心に企業関係者にも参加し産学連携教育ネットワークを強化し、**メンターやファシリテーターの実数も確保**する。

## 【社会人受講生のニーズ(1/3)】

### 1. 「価値創造のためのスキル」（アート思考、デザイン思考、プロトタイピングなど）が身につくこと

#### \*価値創造人材育成プロフェッショナルチームの結成

東京工業大学、多摩美術大学、一橋大学の連携によりアート思考、デザイン思考、プロトタイピングを含め、未来洞察など幅広くかつ深く「価値創造」についてトレーニングを受けることが可能な状況を整備している。

### 2. 受講後も同じビジョンや価値観を共有する人材ネットワークが活用できること

#### \*修了生のアルムナイネットワークの充実

**新たにテックリのアルムナイ組織**を立ち上げる。さらに、東工大、多摩美大が有する現存のリカレントネットワークと連携させ修了生のアントレプレナーシップを継続的に支援する。

## 【社会人受講生のニーズ(2/3)】

### 3. 多忙なスケジュールに合わせ職場からの移動が容易であるが、創造性喚起のための非日常的インプットが可能な環境も用意され、異なる価値観に基づく多様な見解に触れられること

(上記の矛盾的な状況を解決する受講環境が欲しい)

#### \*社会人のニーズに応えるオンとオフを意識した複数キャンパス構成

**都心勤務の受講生にとって田町や六本木へは移動が便利**である。また、腰を据えての作業ができる**大岡山と上野毛は電車で10分の距離**であり、長時間のプロジェクトにも適するキャンパス構成である。さらに、各キャンパスをリモートで接続するIT機器を設置し、社会人のスケジュール需要に柔軟に対応可能である。

#### 【近郊キャンパス】

**A:**大岡山キャンパス (東工大)

**B:**上野毛キャンパス (多摩美)

#### 【都市中心キャンパス】

**C:**田町キャンパス (東工大)

**D:**東京ミッドタウン・デザインハブTUB (多摩美)



## 【社会人受講生のニーズ(3/3)】

### 4. 「自ら投資可能な受講料」かつ「出願前に期待する受講内容」「短期で充実した内容」であることを確認できること

#### \*受講料の適切な設定

本委託事業終了後にも受講生が無理なく参加できるように「**一般教育訓練給付金制度（申請予定）**」を活用していく。

#### \*受講生募集広報の充実

**各大学および連携企業群を通じた多様な広報チャンネル**にての受講生募集を行う。  
SNS等による募集広報も適宜実施する。**受講者候補向けのランディングページ**も用意する。

#### \*受講資格、授業時間数

受講資格は企業勤務もしくは自営業者で新規事業立上げなど新たな「価値創造」に強い関心を持ち、その能力を身に着けたいと考えている**概ね、実務経験3年以上の社会人**とする。授業時間は、平日夜と土曜日を組み合わせ**て総計90時間から120時間を標準とする。**

### 5. 修了生が「身に着けた力」や「アルムナイネットワーク」を活用して現所属企業で活躍できるサポートがあること（**社会のニーズに関連**）

#### \*既存のリカレント教育アルムナイとの発展的連携によるメンターシステム構築

修了生が「身に着けた力」のためにかえって現所属企業にて孤立することがないように「アルムナイネットワーク」による相談会を実施する。「アルムナイネットワーク」は東京工業大学、多摩美術大学の既存のリカレント教育ネットワークとも連携して企業における「価値創造人材」の活用方法について知見を蓄積し、必要であれば受講生の現所属企業とも連携をとる体制を模索する。